

ラジオ大阪制作番組
浪曲「吉岡先生」と防災大阪元年
第34回「放送文化基金賞」
ラジオ番組賞 受賞！

ラジオ大阪が制作した『浪曲「吉岡先生」と大阪防災元年』が、第34回「放送文化基金賞」（主催：財団法人放送文化基金）ラジオ番組部門で、ラジオ番組賞を受賞しました。

放送文化基金賞は、優れた番組や放送文化の発展に貢献した人たちに贈られる賞です。本年度の放送文化基金賞ラジオ番組部門では、「優秀賞」2作品、「ラジオ番組賞」2作品が受賞しました。

今回の受賞作品『浪曲「吉岡先生」と大阪防災元年』（平成19年5月29日午後7時26分～8時25分放送）は、若手女流浪曲師、菊地まどかのレパートリーにある「吉岡先生」という浪曲を基に、大阪の防災について考える番組です。

昭和9年に大阪を直撃し甚大な被害を出した室戸台風では、現在の吹田市豊津第一小学校の吉岡藤子先生が身を挺して5人の児童をかばい殉職しました。この実話を基に作られた「吉岡先生」を菊池まどかが七五調の節に乗せ、ドラマチックな啖呵で教師の情熱と児童への愛情を語ります。高齢となった当時の生徒たちとのインタビューを交えながら、大阪の防災についてエポックメイキングな事象であった室戸台風を浪曲とドキュメンタリーの両面から考える番組です。

尚、6月14日土曜日午後8時～10時には、ラジオ大阪開局50周年企画「ドキュメンタリー1314」として再放送を予定しております。

午後8時～8時55分には、これまでベールに包まれてきた死刑の実態を描いた『文化放送報道スペシャル 「死刑執行」』。

午後9時～10時には、『浪曲「吉岡先生」と大阪防災元年』を放送します。